

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

福島市及び二本松市におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議等について

○福島市及び二本松市におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について

問 隣接する市町村との連携協約を締結することのメリットはどのようなものなのか。また、複数の連携協約に加入した場合の特別交付税措置はどうか。

答 共同で事業を実施することで、特別交付税措置が受けられることや広域内市町村職員による合同研修会もあり参加する職員の資質向上が期待される。また、複数の連携協約に参加しても特別交付税措置は1,800万円が上限となる。

○令和3年度二本松市一般会計補正予算

問 名目津温泉管理運営経費について、新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金の積算根拠は、

答 今年度の指定管理料を含めた収入見込額1,983万円と、支出見込額2,100万円との差額の90%を支援金としている。

問 常備消防費について、安達地方広域行政組合消防費負担金の他市村の負担額は、

答 本宮市が139万6千円、大玉村が46万9千円である。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

二本松の酒で乾杯条例制定、一般会計補正予算について

○二本松の酒で乾杯条例制定について

問 市民への周知方法は。また、条例第2条に「市は、二本松の酒による乾杯の推進に必要な措置を講ずるよう努めるものとする。」との条文があるが、具体的には何を行うのか。

答 市民への周知については、市の広報紙及びウェブサイトへの掲載、イベントでのチラシの配布、商工団体を通じての周知等を行う予定である。また、具体的な支援内容については、4酒蔵でのGI取得の支援や商工団体で開催される酒まつりのイベントへの財政的支援等を行っていきたいと考えている。

○令和3年度二本松市一般会計補正予算

問 福島県沖地震による被災住宅修理支援事業につ

いて、これまで何件の修理が完了し、何件の修理が終わっていないのか。

答 補助金として完了した件数は半壊以上14件、準半壊36件、一部損壊182件である。修理費として業者へ支払った件数は、半壊以上15件、準半壊31件であり、これから補助する件数は105件である。



机上審査の様子

3月3日に付託された各議案は、3月15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日22日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 温泉等利用健康増進事業について、2,468万2千円繰り越すが、当初予算と比較し770万円程度しか使われておらず、コロナ関係で利用率が低かったと見込んでいるのか。

答 コロナ禍による要因が1番大きかったと認識している。前年度分も繰り越しているが、令和2年12月までの執行も754万円程度、率にして23%で、3年度分も率にすると24%である。2年度分と3年度分に繰り越した分を合わせ、全体で57%の執行状況であり、最終的にはおおむね60%になる見込みと思われる。

問 教育費の感染症対策事業について、2,250万円繰り越すが、その内容とこの繰越予定額になる理由は。

答 感染対策をする上で必要な備品等購入を各学校長に依頼し、市から補助金を交付する事業で、さらなる感染対策のための事業費である。国の補助金決定が今月となったもので、事前に着手はできず決定後となるため、一度に執行できないことから全額繰越しをするものである。

討議 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業については、令和4年6月まで延長されたことから、再度周知して支援すべきである。

障がい福祉サービス事業については、障がい者の雇用の場を広げることにもなるので、今後も働く場所が増えるよう働きかけてほしい。

安達地方特別支援学校敷地造成事業については、1日でも早く完成させ、児童生徒が使用できるようにしてほしい。



机上審査の様子

予算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

3月定例会では、令和4年度各会計予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置しました。3月8日及び9日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。

